

平成23年度第9回岡山県地方独立行政法人評価委員会の議事録

- 1 日 時 平成23年9月26日(木) 13:00~14:30
 2 場 所 岡山県精神科医療センター 研修室1
 3 出席委員 末長委員長、小田委員、清水委員、田淵専門委員
 4 議 事

(1) 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター平成23年度計画

資料により説明を行い、質疑を行った。

質疑の冒頭に事務局から評価結果(素案)について説明が行われ、続いて委員からの質疑が行われた。以下はその概要である。

| 委員発言要旨 | 事務局発言要旨 |
|---|---|
| <p>3 医療の質及び安全の確保に挙げられている①医療水準の向上のところ、診療実績の公開とありますが、これはいわゆる実績を公開をするなかで、知識の共有化を図るといったことでしょうか。</p> <p>4 患者の自立と社会参加への取組へ向けての取組の強化のところの③精神障害者の生活を支える訪問・通所型医療の提供のところ、切れ目のない支援という表現がありますが、この表現については、例えば地域定着支援のための支援という言い方が分かりやすいのではないのでしょうか。</p> <p>あと、当事者からすると、「切れ目のない」といった表現に違和感を感じるところもあるのではないかと感じます。</p> | <p>○岡山県精神科医療センター そうですね。現在でも公表出来るものについては最大限しておるつもりですが、精神科については、アウトカムの評価がなかなか難しいので、そこを含めた実績の公開をしていくといった意味合いが込められていると考えています。</p> <p>○岡山県精神科医療センター この12月から、医療計画に記載すべき疾患について、従来の4疾患に加えて、精神疾患を加えた5疾患になることが決められており、精神科も一般医療科の中に盛り込まれていきます。 県の地域医療計画においても、実績については数値目標の公開が義務づけられています。なので、これはなんらかの形で公表をしていかなければなりません。</p> <p>○岡山県精神科医療センター 地域定着支援といった言葉は行政的な響きが強く、国の方で似たような言葉がいろいろ出てきている状況ですので、目標の段階ではあえて固めず、意味するところが分かればよいのではないのでしょうか。</p> <p>○岡山県精神科医療センター 一般科の方ではシームレスとか、手渡しのといった表現を使っているところもありますね。</p> <p>○岡山県精神科医療センター 現在の精神科の実態は、本当にただ診てそれでお終いといった本当に切れ目だらけなものなので、あえてそこをなんとかしていく、そういう意味でこういう表現でもいいのかなとは思いますが。 ただ、患者さんへ説明する場合の仕方については、注意する必要はあるのでしょうか。</p> <p>○事務局 シームレスという言葉を使うことは、置き換えられる外来用語はなるべく分かりやすい表現に改めていくということから、少し難しいかなと考えております。 切れ目のないという表現については、後に「ない」という</p> |

否定の言葉で打ち消しても「切れ目」という言葉について敏感に反応される方がいらっしゃるのをおっしゃるとおりだと思います。

ただ、これは中期目標で、行政的に使うものですので、できるだけ幅広い意味をもった言葉を使うということで、ご理解をいただきたいと考えています。

了解しました。

他にご意見はございませんでしょうか。

無いようでしたら、地方独立行政法人岡山県精神科医療センター第2期中期目標（案）につきましては、字句の修正を除きまして、原案の内容のとおり決定したい考えますが、各委員よろしいですか。

（異議無しの声あり）

それでは、原案のとおり決定いたします。

(2) その他

今後の日程について確認。挨拶等

議事終了後に、委員による病院内施設の視察が行われた。